



2024年10月23日

各 位

会 社 名 株式会社ウエストホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 江頭 栄一郎
(コード番号:1407 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経営企画部 IR 担当 勝 又 伸 生
電 話 番 号 03-6812-2501 (代表)

2024年8月期 決算説明会資料

当社は、2024年10月24日にアナリスト・機関投資家向け2024年8月期決算説明会を開催いたします。2024年8月決算概要、今後の見通し等についての説明を予定しており、その資料を添付いたします。

以 上

2024年8月期決算説明会資料

2024年10月24日



1. 会社概要

2. 2024年8月期決算概要

3. 2025年8月期見通し、中期経営計画



会社理念

ウエストグループに働く人は皆、豊かで幸福でなければならない。そのためには常に変化に挑み、無限の可能性を信じ顧客に満足願える仕事を通じて社員の幸福を増進し会社の発展と繁栄を念願するものである。

ウエストグループは、創業以来変わらぬ会社理念を経営の原点として常に変化と創造で、あらたな事業を創り出し続けます。

VISION

「太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと省エネルギーを推進することで化石燃料に頼らない「脱炭素社会」の実現を目指します」

持株会社



WEST GROUP
株式会社ウエストホールディングス

- ・ グループの経営戦略
- ・ グループの管理統括
- ・ グループの財務運営

主要事業子会社

 <p>WEST GROUP 株式会社ウエストエネルギーソリューション</p>	※ [100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 住宅用、公共・産業用太陽光発電市場の開拓・ 太陽光発電事業（自社所有の発電所）・ 産業用・非FIT発電所の企画・設計・販売・施工・ 省エネ設備の設計・施工・ 蓄電所の企画・設計・販売・施工	
 <p>WEST GROUP 株式会社ウエストビギン</p>	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電システムの商品開発、物流	
 <p>WEST GROUP 株式会社ウエスト O&M</p>	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電所の運用改善（オペレーション）・ 太陽光発電所の保守・管理・監視サービス（メンテナンス）	
 <p>WEST GROUP WEST International (Thailand) Co., Ltd.</p>	[49%]
<ul style="list-style-type: none">・ タイを中心としたASEAN諸国でのエネルギーソリューションサービス	
 <p>WEST GROUP 株式会社ウエストグリーンパワー</p>	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 再生可能エネルギーの買取、卸売り	

※ [%] はウエストホールディングスの出資比率をさします

ウエストグループの変遷

ウエストグループは、時代の変化とともに「朝令朝改」
ウエストグループは、常に「変化の創造」

1981

住宅建材商社

広島市に
西日本鐘商を創業



1985

屋根瓦工事実績
日本一

瓦事業部を設立
2002年 芸予地震の
影響を受けた広島城
天守閣屋根瓦工事を
受注



1993

コンクリート構造物の
耐震診断・補修

ビルの耐震診断・補修
事業を開始
阪神淡路大震災後の
ビル復旧工事を受託
(施工実績)
兵庫県庁、神戸市役所
そごうほか



1995

企画型住宅の販売

企画型住宅
骨太住宅の販売を開始
樹木希林さんをイメージ
キャラクターとして
全国CM放映



2005

家庭向け
オール電化・太陽光発電

ヤマダ電機と業務提携
店舗内にリフォーム
コーナーを展開



2011

中規模 太陽光発電

高圧太陽光発電所の
企画・開発・施工を開始



2012

メガソーラー

メガソーラーの
企画・開発・施工を
開始



2015

省エネルギー事業

省エネルギー事業
「ウエストエスコ」
サービスを開始



2016

海外（アジア）事業

タイに子会社を設立
ASEANで太陽光、
省エネ事業を展開



2018

排出権取引を開始

Jクレジットの取扱を開始



2020

非FIT発電所

非FIT発電所の開発を開始
非FIT電源の取り扱い会社
ウエストグリーンパワーを
設立



2022

サステナブルスタンダード
を開始

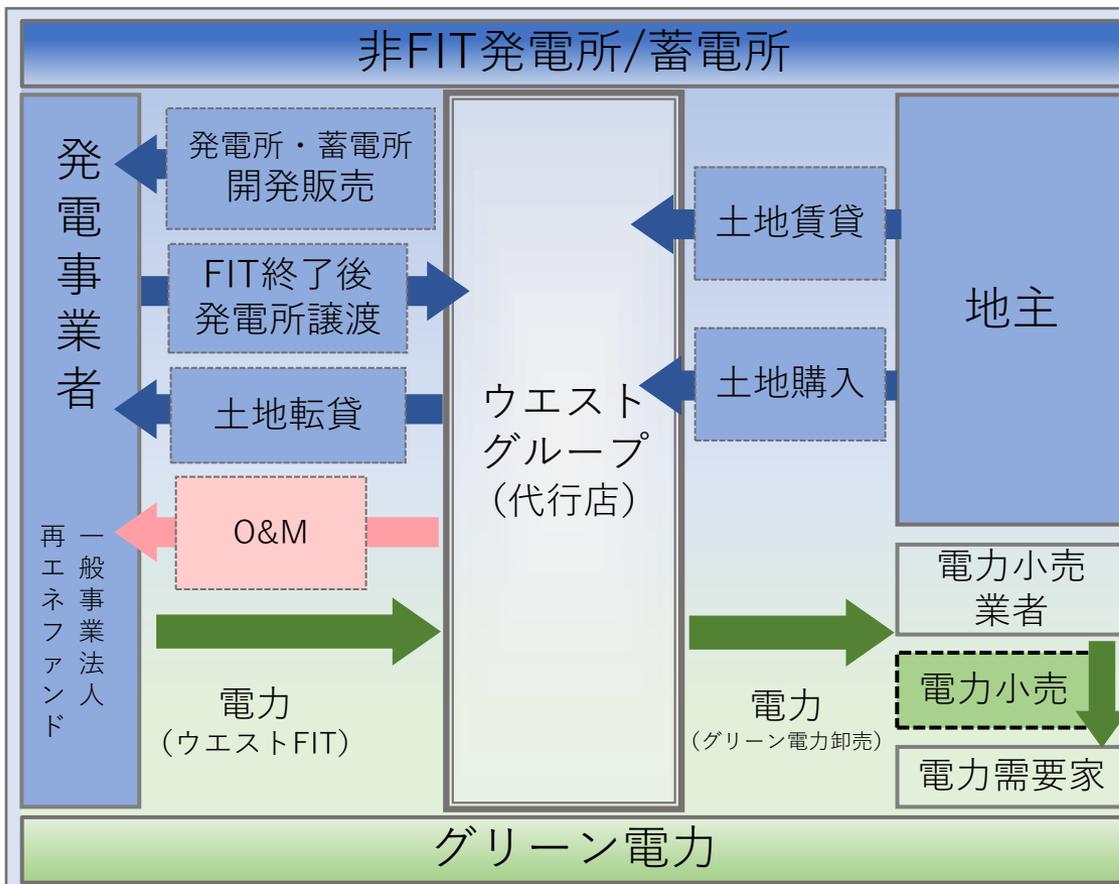
CO2排出量の可視化、
カーポート型太陽光発電、
自己託送制度などをパッケージ
としたサービスを開始



日本一のファブレス再エネ電力会社を目指す

資産を増加させることなく、再エネ電源を確保
フロー収益とストック収益の同時追求

フロー	ストック	ストック
非FIT発電所	O&M	グリーン電力卸売



系統連系可能な 建設用地の確保

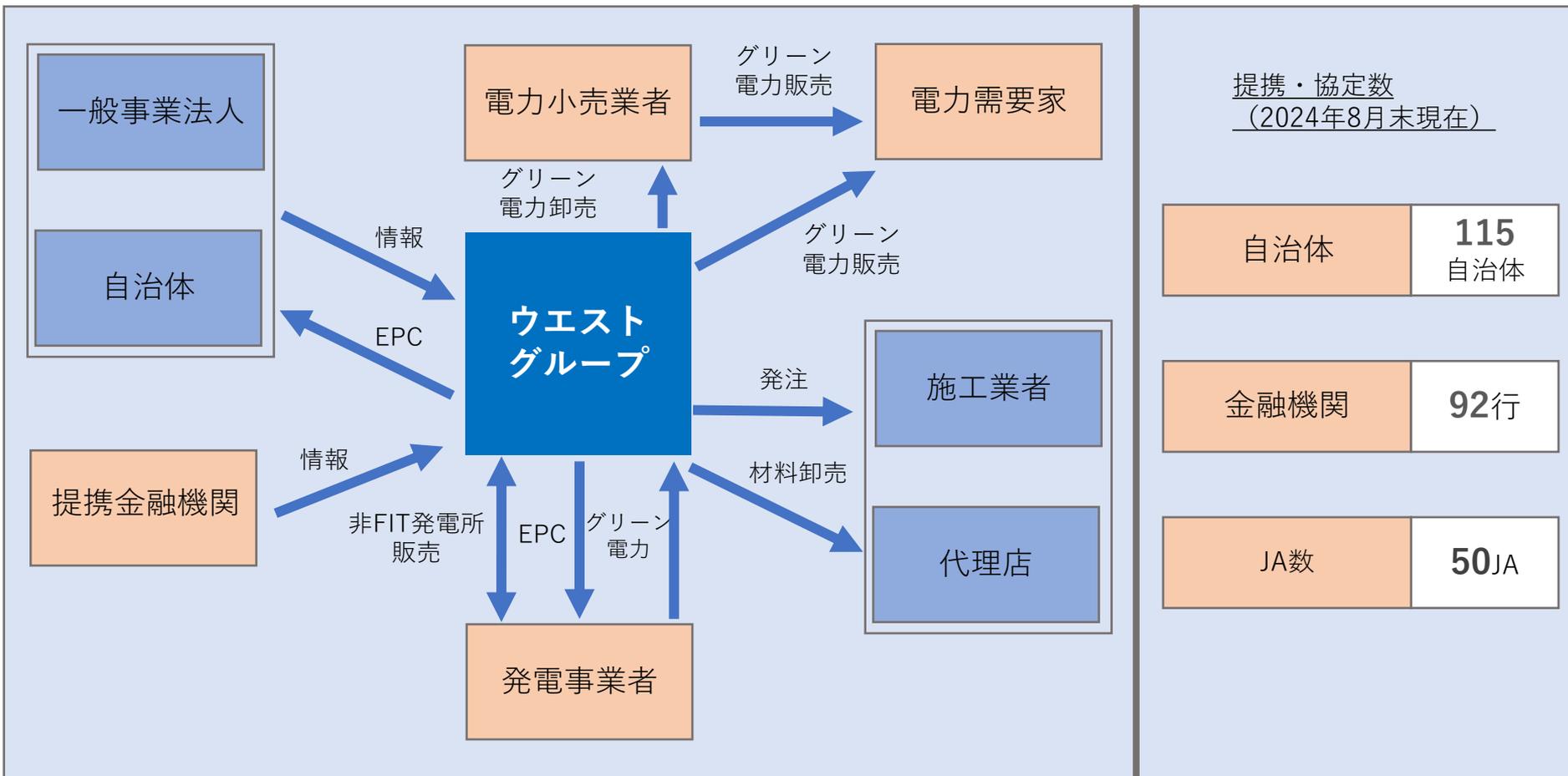
- 荒廃農地 28.4万haの活用
- 自治体からの情報
- 提携金融機関からの情報
- 地域密着の代行店による開拓

< 実質保有電源容量累計 > (単位： MW)

	2024/8	2025/8	2026/8	2027/8
非FIT発電所	341.6	621.1	953.1	1,323.1
メガソーラー	469.4	469.4	469.4	469.4
合計	811.0	1,090.5	1,422.5	1,792.5
(自家消費)	267.6	329.2	397.0	471.6

事業スキーム

再生可能エネルギーのプラットフォーム
金融機関をはじめ全国での各提携数は堅調



企画～施工～連系～O&M～リニューアルまで一気通貫のモデル
顧客へクロスセル型の総合提案を実現

フロービジネス

再生可能エネルギー 事業

産業用太陽光

■自家消費

非FIT発電所

■低圧・高圧発電所
■再生メガソーラー
(非FIT発電所として活用)

蓄電所

■開発・販売

ストックビジネス

電力 事業

■グリーン
電力卸売

■自社売電

■蓄電所運営

省エネ 事業

■ウエスト
エスコ

・LED
・空調
・エコクラウド
(冷凍・冷蔵設備
温度管理システム)

メンテナンス 事業

■O & M

※2024年8月現在

太陽光発電【72,427カ所・2,890,658kW】

メガソーラー



319 カ所

452,414 kW

水上ソーラー



16 カ所

21,425 kW

自治体ソーラー



751 カ所

25,560 kW

産業用ソーラー



13,850 カ所

1,662,000 kW

住宅用ソーラー



53,355 件

261,439 kW

営農型太陽光



87 カ所

8,700 kW

ウエストタイ



188 カ所

107,464 kW

低圧発電所



1,249 カ所

112,775 kW

ウエストグループ 資格者一覧

1級電気工事施工管理技士	25名	第2種電気工事士	53名	1級土木施工管理技士	6名
2級電気工事施工管理技士	4名	1級電気通信工事施工管理技士	1名	2級土木施工管理技士	4名
第1種電気主任技術者	1名	1級建築士	3名	1級管工事施工管理技士	3名
第2種電気主任技術者	5名	2級建築士	6名	2級管工事施工管理技士	6名
第3種電気主任技術者	19名	1級建築施工管理技士	5名	給水装置工事主任技術者	4名
第1種電気工事士	44名	2級建築施工管理技士	1名	宅地建物取引士	13名

O&M受託件数

【高圧/特別高圧 443カ所・609.6MW】



ウエスト第4ビルに「でんきの広場」開設
パワーコンディショナ、キュービクル
などの実機を展示



1. 会社概要

2. 2024年8月期決算概要

3. 2025年8月期見通し、中期経営計画



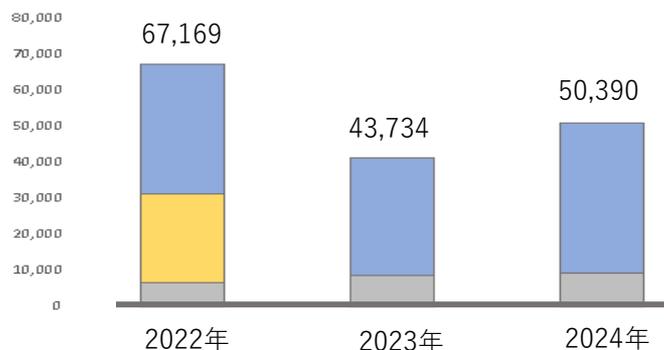
2024年8月期 決算概況

(単位：百万円)

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期		前期比増減率
	実績	実績	当初計画	実績	
ウエストグループ総売上高	67,169	43,734	64,655	50,390	115.2%
再生可能エネルギー事業	35,972	34,147	55,125	41,650	122.0%
省エネルギー事業	1,945	2,133	2,100	1,564	73.3%
電力小売事業	24,844	-	-	-	-
グリーン電力卸売	177	462	900	918	198.7%
自社売電事業	2,832	4,268	4,600	4,223	98.9%
メンテナンス事業	1,700	1,860	1,830	2,035	109.4%
その他	1	864	100	0	-
営業利益	7,770	8,499	11,683	10,597	124.7%
(営業利益率)	11.57%	19.43%	18.07%	21.03%	-
経常利益	7,293	7,972	10,983	9,956	124.9%
親会社・株主に帰属する当期純利益	4,257	6,016	7,438	6,757	112.3%

<売上高3か年実績推移>

(単位：百万円)



セグメント別ハイライト①

産業用太陽光（自家消費）

- 2022年の世界的エネルギー価格の高騰を契機とする短期的需要の剥落と、蓄電池・余剰売電等顧客ニーズの多様化に伴うリードタイムの長期化により、売上高は前年比34%減の約120億円にとどまる。
- ウエストサステナブルスタンダードは引き続き堅調な売上が期待できると共に、「GreenBee株式会社」との資本業務提携により提案力の質とスピードを強化。

非FIT発電所（ウエストFIT）

- 開発にかかる許認可取得、法令上の義務への対応、登記手続き等、膨大かつ煩雑な事務対応に追われ、立ち上げに苦勞してきたが、社内体制整備と外部各当局との関係構築がようやく奏功し、事業として軌道に乗せることに成功。
- 売上実績は、
〈2022/8〉17.7億円⇒〈2023/8〉104.7億円⇒〈2024/8〉261.5億円と着実に成長。

セグメント別ハイライト②

自社売電

- 上半期において、銅価格の高騰、国内電線不足を原因とするメガソーラーケーブルの盗難が相次ぎ、復旧期間中の売電機会が減少。下半期は概ね計画通りに推移し、利益面での影響は軽微。

ウエストタイランド

- 引き続き堅調に推移、事業構成におけるEPCのシェアも徐々に増加中。

省エネルギー

- LED・空調設備等のウエストエスコ資産残高の漸減により、売上は減少傾向

(単位：百万円)

事業年度	2020.8月期	2021.8月期	2022.8月期	2023.8月期	2024.8月期
売上高	1,972	2,289	1,945	1,908	1,564
資産残高	4,995	4,623	4,351	4,266	3,650

メンテナンス (O&M)

- メガソーラー減少分を産業用の増加とウエストFITの立ち上がりによりカバーし、契約容量は順調に拡大

(単位：百万円)

(当社メンテナンス写真一例)

事業年度	2023年8月期	2024年8月期
売上高	1,860	2,035
契約MW	1,076.4	1,281.6



1. 会社概要

2. 2024年8月期決算概要

3. 2025年8月期見通し、事業計画



2025年8月期 決算予想

(単位：百万円)

	2024年8月期	2025年8月期			前期比増減 通期
	実績	予想			
	通期	上期	下期	通期	
ウエストグループ総売上高	50,390	16,710	39,708	56,418	112.0%
再生可能エネルギー事業	41,650	12,926	34,842	47,768	114.7%
■産業用太陽光請負（自家消費）	12,436	4,231	8,659	12,890	103.7%
■非FIT発電所開発（ウエストFIT）	26,147	7,270	24,034	31,304	119.7%
■ウエストタイランド	2,042	880	1,404	2,284	111.9%
■その他(賃収・メンテ等)	1,025	545	745	1,290	125.9%
電力事業	5,141	2,044	3,116	5,160	100.4%
■グリーン電力卸売	918	480	520	1,000	108.9%
■自社売電	4,223	1,564	2,596	4,160	98.5%
省エネルギー事業	1,564	750	750	1,500	95.9%
メンテナンス事業	2,035	990	1,000	1,990	97.8%
営業利益	10,597	2,659	10,562	13,221	124.8%
（営業利益率）	21.03%	15.91%	26.60%	23.43%	-
経常利益	9,956	2,097	9,824	11,921	119.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,757	1,242	6,768	8,010	118.5%

(単位：百万円)

	2024年8月期	計画		
		2025年8月期	2026年8月期(参考値)	2027年8月期(参考値)
ウエストグループ総売上高	50,390	56,418	66,026	81,837
再生可能エネルギー事業	41,650	47,768	57,114	72,466
■産業用太陽光請負（自家消費）	12,436	12,890	13,200	14,520
■非FIT発電所開発（ウエストFIT）	26,147	31,304	40,693	42,535
■蓄電所開発	-	-	-	12,000
■ウエストタイランド	2,042	2,284	2,231	2,421
■その他(賃収・メンテ等)	1,025	1,290	990	990
電力事業	5,141	5,160	5,300	5,670
■グリーン電力卸売	918	1,000	1,000	1,000
■自社売電	4,223	4,160	4,160	4,160
■蓄電所運営	-	-	140	510
省エネルギー事業	1,564	1,500	1,500	1,500
メンテナンス事業	2,035	1,990	2,112	2,201
営業利益	10,597	13,221	15,584	17,821
（営業利益率）	21.03%	23.43%	23.60%	21.78%
経常利益	9,956	11,921	14,484	16,671
親会社株主に帰属する当期純利益	6,757	8,010	9,883	11,393

太陽光発電所の位置づけが変化

投資商品

環境貢献・脱炭素化
を達成するための設備に

拡大する需要

- ① 自家消費
- ② グリーン電力
- ③ 発電所保有

ウエストはそれぞれの需要に対応

① 自家消費



産業用太陽光請負

発電所を所有し、その電気を使用（大手サプライヤー工場、大型店舗、物流施設）

② グリーン電力



グリーン電力卸売

発電所は保有せず、グリーン電力のみ使用（大阪ガス、MCリテールエナジー）

③ 発電所保有



非FIT発電所開発

グリーン電力は使用しないが、環境貢献・規制対応のため、再エネ発電所を保有（JERA、SMFLみらいパートナーズ）

アライアンス活用による各事業の高度化

産業用太陽光請負 (自家消費)

- ・短期的需要剥落後のベース需要を基に着実な成長を企図。
- ・顧客ニーズの多様化に最速で対応できる態勢、機能の確立。
⇒「GreenBee株式会社」との資本業務提携／設計・提案のIT化によりソリューション提供力の質とスピードを強化。

非FIT発電所開発 (ウエスト FIT)

- ・低圧： 施工の平準化、施工前工程の効率化追求により、着実な成長と品質向上を重視。
- ・高圧： 開発本格化により本事業の成長ドライバーへ。

蓄電所開発

- ・太陽光発電所への不適格用地（北向き・日陰地）の再活用により候補案件を一気に拡大。
- ・「EPC&メンテナンス」事業モデルと「自社保有・運営」事業モデルの併用による、案件に応じた適切な開発。
- ・将来的には、既存保有メガソーラーの活用による、再エネ電源併用型蓄電所の開発。
- ・蓄電所運用ノウハウの確保
⇒「株式会社グリッド」との協業によりAIを用いた最適運用を追求。

（単位：百万円）

事業年度	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期
売上高	12,890	13,200	14,520
期首受注残	2,780	3,390	4,190
新規受注分	13,500	14,000	15,000
期末受注残	3,390	4,190	4,670

提携金融機関数	92
重点金融機関数	49
総支店数	6,666
総メイン先数	668千社

引き続き自家消費へ特化

ウエストサステナブルスタンダードを徹底推進

非FIT発電所開発（ウエストFIT）

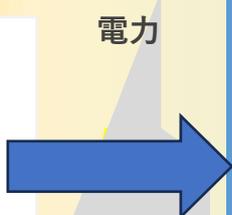
ウエストFIT

発電事業者

SMFLみらいパートナーズ

JERA

中国電力



ウエストグループ

グリーン電力

電気小売業者

電力・インフラ系

総合商社

etc
...

電力
小売

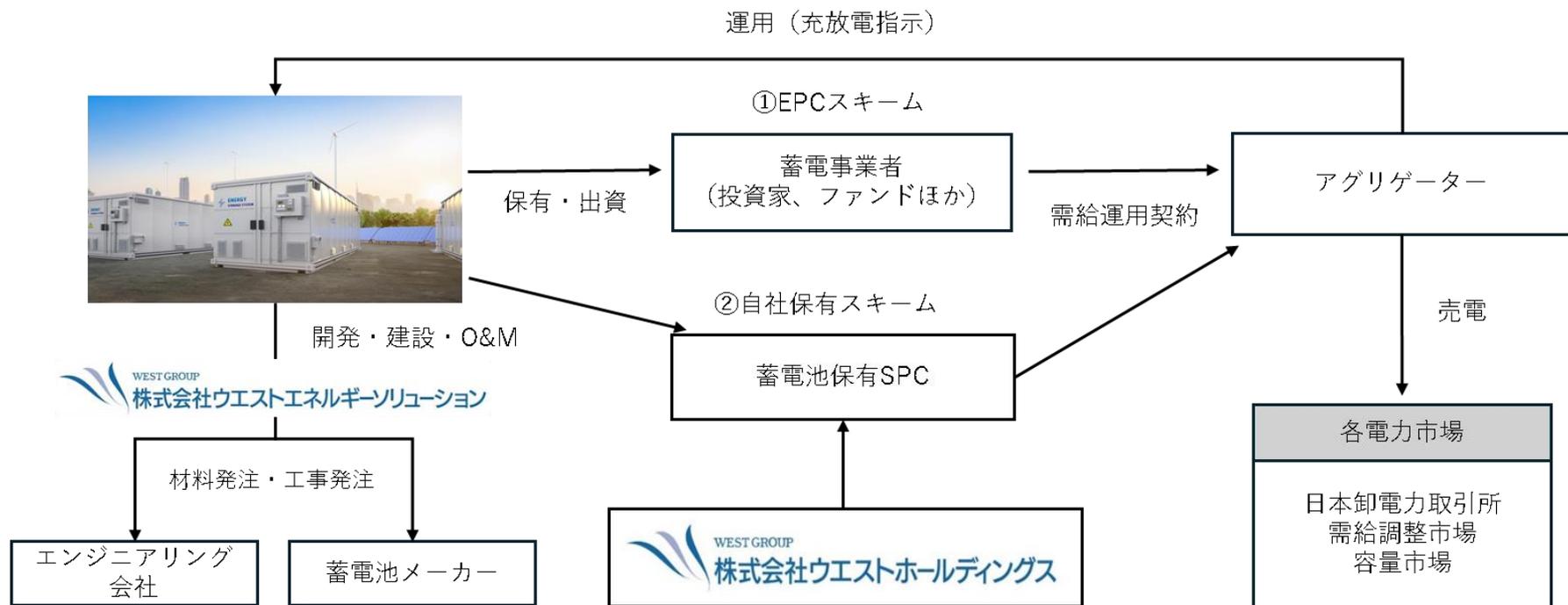
電力需要家

<ウエストFIT計画>

(単位：百万円、MW)

	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期
売上高	26,147	31,304	40,693	42,535
パネル容量	234	280	332	350

蓄電所(開発・販売／運営)



(単位：百万円)

		2025/8	2026/8	2027/8
売上高	EPC	—	—	12,000
	売電	—	140	510

ウエストインターナショナルタイランド

 太陽光実績

197 Project **117** MW

(2024年8月末 現在)

ウエストグループの技術力と経験を活かした
アライアンスとメンテナンスで
タイ王国の太陽光導入を牽引

2002年から2024年まで、タイ王国の電気代は年平均にして2.5%上昇していること、また、2024年現在3%程度の太陽光発電の割合を2030年に7%、2037年には17%にまで引き上げる電力開発計画が掲げられていることから、今後もタイ国内の太陽光発電需要は堅調に推移すると考えられる。

我々WESTタイは、タイに進出している日系企業はもとより、与信判断が難しいとされるタイローカル企業に当社の太陽光発電とメンテナンスを推進するためにも、WESTグループの経験を活かしたアライアンスを軸にこれからも成長を続け、タイのカーボンニュートラル達成に貢献します。



産業用分野での業務提携

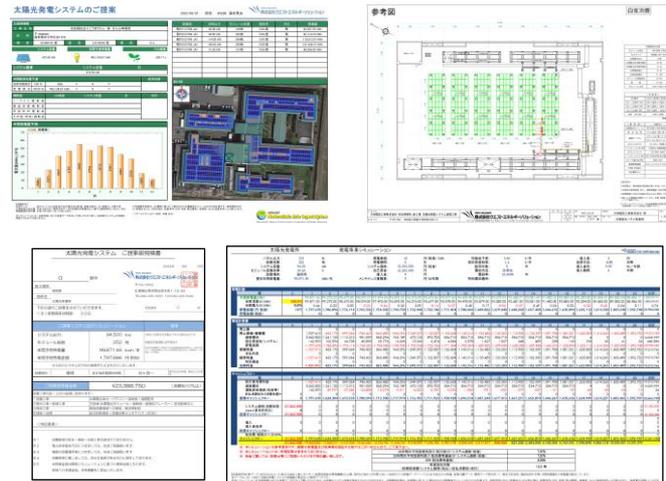
- 東証グロース上場 **GreenBee株式会社**と**資本業務提携契約**を締結。
- 屋根設置の自家消費太陽光発電所の**最適提案にAIを活用**。
- メンテナンス契約を締結している**120MWの発電データ**をもとに、電力使用量やCO2排出量の削減に最適なサイズの提案書をAIを活用して作成。
- 現地調査でもドローンを活用することで効率化を図り、提案書の作成時間を大幅に短縮します。

現地調査



提案書・見積書・資金繰り表の作成

施工実績 7万件のデータをAIを活用



アフターメンテナンス



発電状況をレポートで抽出。
また、発電所の劣化も把握して
まいります。

ドローンでの採寸・強度確認をし、
上空からの写真を活用して、
太陽電池モジュールの割り付けなどを
行います。

太陽電池モジュールの割り付けのち、
発電シミュレーション・提案書・資金繰りな
どの提案書を自動的に作成します。

蓄電池分野での業務提携

- ・ 東証グロース上場 株式会社グリッドと業務提携契約を締結。
- ・ グリッドとウエストグループと共同で、2027年度までに800MWhの蓄電所の開発を目標とする。
- ・ ウエストグループは、開発・商材調達・建設・メンテナンスを担当し、グリッドは、開発・需給管理を担当する。
- ・ グリッドは、AIを使った蓄電池制御の最適化エンジンを開発し、収益を最大化する充放電計画をプランする。

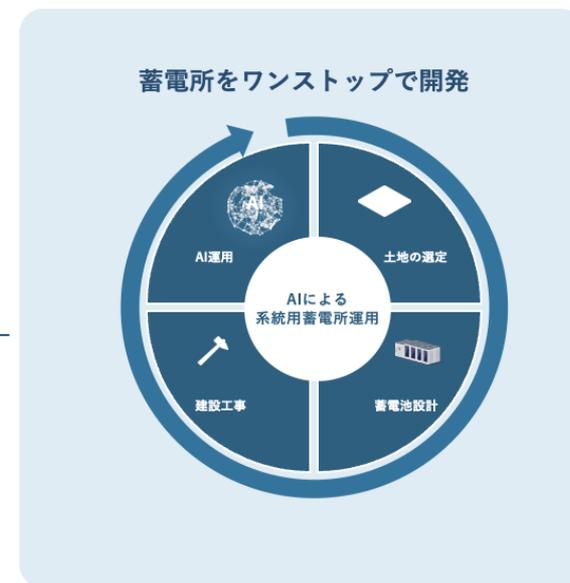


* 蓄電池イメージ

WEST GROUP
株式会社ウエストホールディングス

GRID+

* サービスイメージ



本資料は弊社グループの企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ウエストホールディングス
代表電話：03-6812-2501